

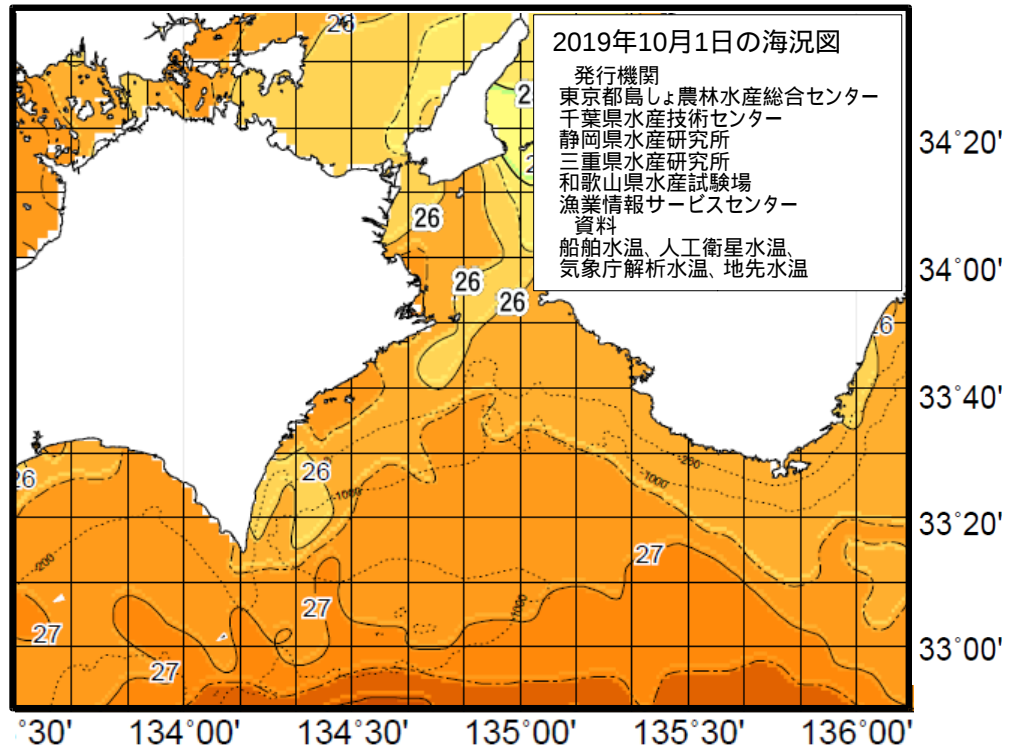
## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

黒潮は大蛇行の始点が不規則に変化している。10月1日には室戸岬沖で40NM付近を、潮岬沖で50NM付近を流れ、いずれも「やや離岸」となっている。

10月1日時点の徳島県周辺の水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸ともに25 ~ 26 台となっている。

黒潮の表面水温は28 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)

室戸岬沖 接岸: ~ 25NM やや離岸: 25 ~ 45NM 離岸: 45 ~ 65NM 著しく離岸: 65NM ~  
潮岬沖 接岸: ~ 26NM やや離岸: 25 ~ 56NM 離岸: 56 ~ 86NM 著しく離岸: 86NM ~

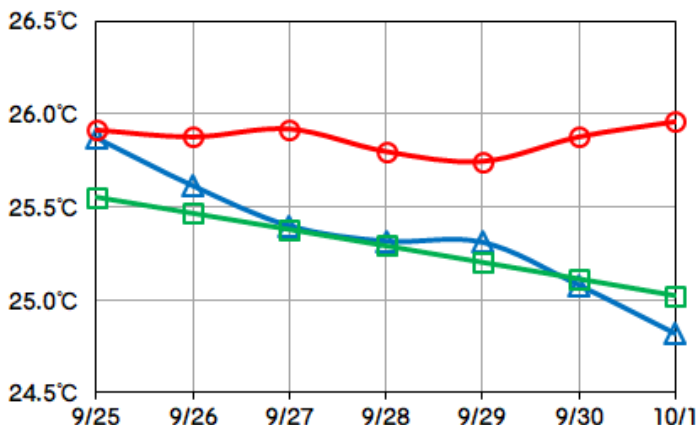
直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

### 2. 地先水温(9月25日~10月1日)

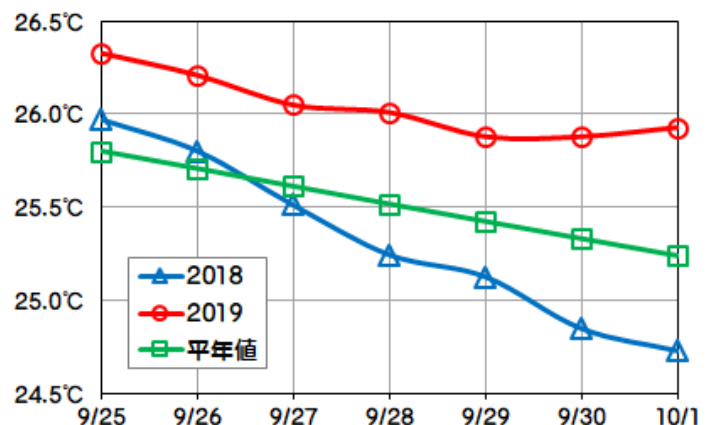
鳴門地区の水温は、「やや高め」~「平年並み」の25.8 ~ 26.0 で推移した。

日和佐地区の水温は、「やや高め」~「平年並み」の25.9 ~ 26.3 で推移した。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上 1.5 未満  
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上 2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上

平年値 1984年~2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(10月2日~10月8日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」~「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「やや高め」~「平年並み」で推移する見込み。

イセエビ建網漁が始まった（イセエビの漁獲量は非公表）。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが大きく減って25ト水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて10.6ト、タチウオが増えて特大主体に1.3ト、ハモが減って0.9ト、シマフグが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

建網では、イセエビのほか、カワハギが大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って特大主体に1.8ト、ヘダイが大きく増えて0.8ト、マサバが大きく減って中主体に0.6ト、ブリが減ってつばす級主体に0.6ト、マルアジが0.4ト、カンパチが0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて2.6ト、えそ類が大きく増えて0.8ト、いとより類が大きく増えて0.4ト、クマエビが大きく増えて0.3ト、コウイカが増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが増えて0.3ト、カンパチが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

建網では、イセエビのほか、カワハギが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ムロアジが大きく増えて0.3ト、メアジが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が多いものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	25,000	500		↓↓
	延縄	75	サワラ	10,576	141		↑
		65	タチウオ	1,343	21	特大主体	↑
		10	ハモ	939	94		↓
		39	シマフグ	271	7		↑↑
	建網	63	カワハギ	537	9	大主体	-
	小型定置網	24	マアジ	1,846	77	特大主体	↓
		23	ヘダイ	833	36		↑↑
		20	マサバ	589	29	中主体	↓↓
		19	ブリ	568	30	つばす級主体	↓
		21	マルアジ	371	18		→
	底びき網	21	カンパチ	336	16		→
		43	ハモ	2,557	59		↑
		26	えそ類	752	29		↑↑
		30	いとより類	403	13		↑↑
40		クマエビ	298	7		↑↑	
海部沿岸	釣り	29	コウイカ	215	7		↑
		15	タチウオ	282	19		↑
	建網	27	カンパチ	146	5		↑↑
		66	カワハギ	165	3		-
		小型定置網	9	ムロアジ	345	38	
6	メアジ		121	20		↑↑	

前週比 200%以上： 120-200%： 80-120%： 50-80%： 50%未満：